

# はばたきインクル支援だより



深谷はばたき特別支援学校 平成30年9月3日 No.1



深谷はばたき特別支援学校の重点目標に「インクルーシブ教育システム構築に向けた支援体制とセンター的機能の充実」という項目があります。この「はばたきインクル支援だより」は、地域で支援を必要としている保護者や先生方に向けて、様々な支援を提案するものです。月に1回程度、子どもたちのよりよい成長を願って発信させていただきます。

地域の小中学校を巡回して気付いたことなども取り上げていきたいと考えています。

なお、インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が教育制度一般から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供されることが必要とされていることをいいます。(文部科学省 平成24年)



## 特集 問題となる行動の理由を探ろう！

今回は、問題となる行動の理由を探る方法をご紹介します。

問題となる行動への支援を行うときに、まず最初に、なぜその行動が起こっているのか、その理由を探り、それに応じた支援策を考えることが重要です。

「授業中に突然大きな声を出す」という行動を例にします。授業がおもしろくなくてイライラした場合、不快なことがあって興奮してしまった場合、友だちの気を引くために声を出した場合など、一律に「静かにしてください」では適切な支援とは言えません。不適切な支援が、行動をさらにエスカレートさせてしまうこともあります。

次のページから「問題となる行動の機能分析」について(Motivation Assessment Scale)の頭文字を取ってMAS…マスと言います)の簡易版をご紹介します。最後に記入例があります。実際にやってみて、児童生徒の「本当に伝えなかったこと」に迫った指導のきっかけにしてください。

なお、この資料は、[www.osaka-c.ed.jp/sog/kankoubutu16/kenkyuu16/pdf/.../7.pdf](http://www.osaka-c.ed.jp/sog/kankoubutu16/kenkyuu16/pdf/.../7.pdf) から抜粋、一部変更しています。

# 問題となる行動の機能分析 (Motivation Assessment Scale) 簡易版

児童生徒名	年	組
-------	---	---

1 問題となる行動を具体的に1つ記述してください。

\* 「パニック」や「他害」等だけでなく、「大きな声を上げながら頭を机に打ちつける」「人をつねる」等、具体的な行動を記述してください。

2 問題行動が起こる状況を詳しく記述してください。

\* 直前の状況や時間・頻度、周囲の対応、その結果どうなったか等の視点で記述してください。

3 下記の設問について、記入の方法を参考にして教えてください。

記入の方法・・・問題となる行動について、以下の16の設問に該当する答えの番号を、下記の設定基準の中から選んで設問の右枠に記入してください。

0	1	2	3	4	5	6
全くない	ほとんど どない	時々ある	ある時と ない時が 半々	たいてい ある	ほとんど いつもある	いつもある

①	その行動は、長い時間（例えば何時間も）、児童生徒に誰も対応せずに放っておくといつまでも繰り返し起こりますか？	
②	その行動は、児童生徒が難しいことを要求されると起こりますか？	
③	その行動は、児童生徒が自分にかかわってもらえないときに起こるようですか？	
④	その行動は、欲しい物を手にいれようとしたり、あるいは禁止されている活動をしようとして起こしているようですか？	
⑤	その行動は、児童生徒の周囲に誰もいない時に、繰り返し同じ方法で、長い時間起こっていますか？	
⑥	その行動は、児童生徒に対して何らかの要求や指示が出されたときに起こりますか？	
⑦	その行動は、児童生徒への注目やかかわりをやめるたびに起こりますか？	
⑧	その行動は、児童生徒の好きな物を取り上げた時や、好きな活動を中止してしまうと起こりますか？	
⑨	児童生徒がその行動をしているとき楽しんでやっているように見えますか？（例えば、感じたり、味わったり、嗅いだり、あるいは音を聞いて楽しんでいるようですか）	
⑩	その行動は、児童生徒が誰かに何かをさせられそうになった時に、その人を慌てさせたり困らせたり、いらだたせようとして起こしているようですか？	
⑪	その行動は、児童生徒が自分に注目してもらえていない時に、関わっている人を慌てさせたり困らせたりするために起こしているようですか？（例えば、関わっている人が別室にいたり、他の人と関わっている場合）	
⑫	その行動は、児童生徒が欲しがっていた物が与えられたり、やりたがっていた活動ができる、すぐに起こらなくなりますか？	
⑬	その行動が起こっているときは、児童生徒は機嫌がよく、大人しく、周囲に起こっている他のことは、気にもとめていないようですか？	
⑭	その行動は、関わっている人が何か要求することをやめると、すぐに起こらなくなりますか？	
⑮	その行動は、児童生徒と関わっている人に一緒にいて欲しいために起こしているようですか？	
⑯	その行動は、児童生徒がしたいことを禁止されると起こるようですか？	

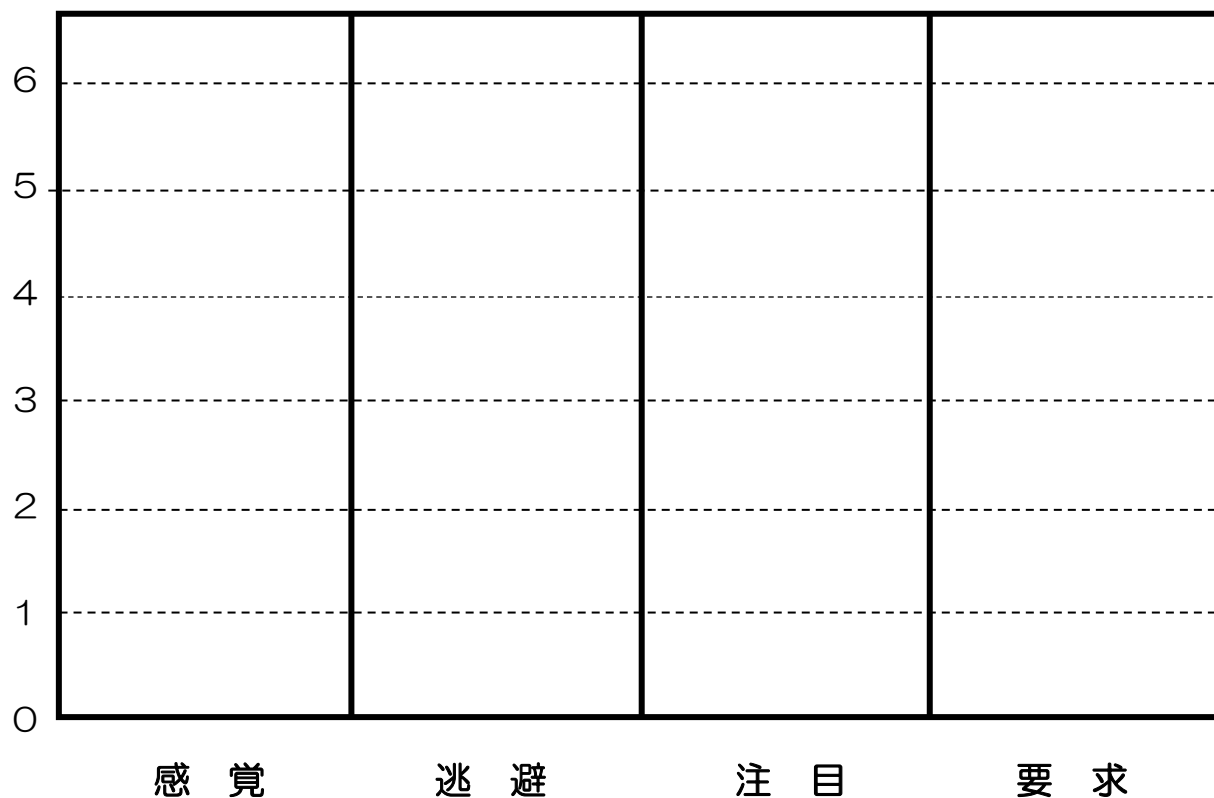
## MAS 結果記録

児童生徒名	年 組
-------	-----

★各設問の答えの番号を記入し、合計、平均点を求めてください。

設問	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩	⑪	⑫
	⑬	⑭	⑮	⑯
合計				
平均				
機能	感 覚	逃 避	注 目	要 求

★上記の各機能の平均点をもとにグラフを作成してください。



## 記入例

### 問題となる行動の機能分析 (Motivation Assessment Scale) 簡易版

児童生徒名	年	組
-------	---	---

- 1 問題となる行動を具体的に1つ記述してください。

\* 「パニック」や「他害」等だけでなく、「大きな声を上げながら頭を机に打ちつける」「人をつねる」等、具体的な行動を記述してください。

ここは問題と思う行動を1つに絞ってください。  
できるだけ具体的に記入します。

- 2 問題行動が起こる状況を詳しく記述してください。

上記1であげた問題となる行動についてのみ記入します。

決まった時間や環境があれば記入します。

また、その行動が起きるきっかけがあれば記入します。

「週明けに」「午前中」「算数の時間」「プリントをやっている時」「授業の後半10分」など。わからない時は「不明」で大丈夫です。

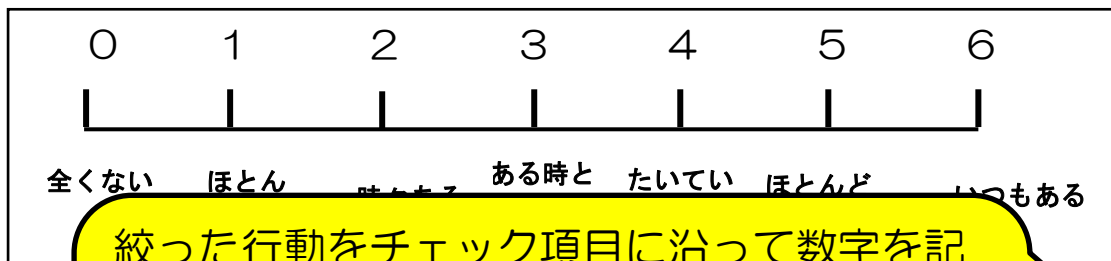
対応方法やその後の様子も記入します。

「注意をしても、聞いていない様子。何度も言うと、にらみ返す。」「無視するとさらにエスカレートする。周囲の生徒が『うるさい』というと落ち込む。」など。

\* 直前の状況や時間・頻度、周囲の対応、その結果どうなったか等の視点で記述してください。

- 3 下記の設問について、記入の方法を参考にして答えてください。

記入の方法・・・問題となる行動について、以下の16の設問に該当する答えの番号を、下記の設定基準の中から選んで設問の右枠に記入してください。



絞った行動をチェック項目に沿って数字を記入していきます。  
チェック項目に数字を記入したら、次ページの表とグラフに記入します。(グラフは結果の数値を見やすく表示するためなので、必ず作成する必要はありません。)

①	その					
②	つま					
③	その					
④	その					
	うとして起こしているようですか?					

## 記入例

## MAS 結果記録

児童生徒名	年 組
-------	-----

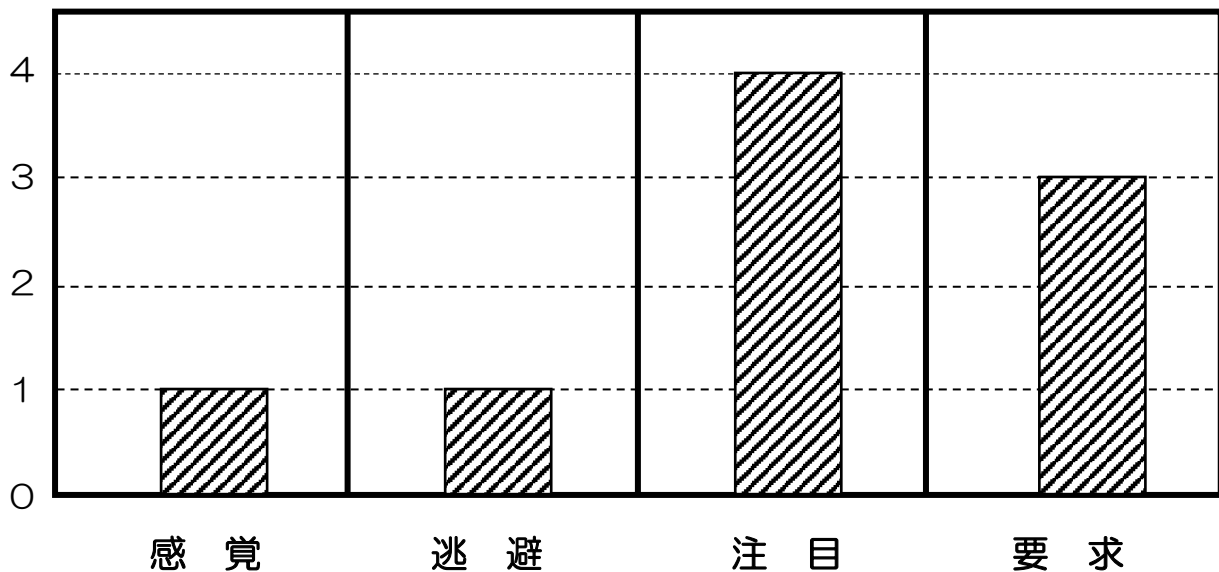
★各設問の答えの番号を記入し、合計、平均点を求めてください。

設問	①		②	
	⑤		⑥	
	⑨			
	⑬		⑭	
合計				
平均				
機能	感 覚		逃 避	

各設問で出した数字（0～6）をこの表に記入していきます。記入したら、合計と平均を機能ごとで出していきます。

- ・感覚は①⑤⑨⑬の、
- ・逃避は②⑥⑩⑭の、
- ・注目は③⑦⑪⑮の、
- ・物や活動要求④⑧⑫⑯の合計と平均を出します。

★上記の各機能の平均点をもとにグラフを作成してください。



問題行動を生起・維持させているものから支援を考えます。以下は一例です。

機能	支援の一例
感覚	感覚的なつらさを伝えて、回避できるようにする。疲労・睡眠不足などはどうか？
逃避	実態に合った課題の量・難しさにする。課題のゴールを示す。（量・時間など）
注目	注意する時しかかかわるのではなく、よくやっている時こそたくさん声をかける。
要求	適切な要求の仕方を教える。優先順位を教える。

教師が要因となり問題となる行動を生起させることもあります。例えば、「この間はよかったのに今回は注意された」「教師によって対応が違う」などです。「さっき言ったよね？」も聞いていなかったことがあるかもしれません。その都度、わかりやすく伝え、児童生徒の理解を確認することが大切です。